

すこやか河内

河内地域学校園だより vol. 019 2016/7/20

～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します ～

◎ 小中一貫教育の目的

義務教育 9 年間を通じた系統的な指導と地域の教育資源を活用した特色ある教育活動などによる、児童生徒の学力保障と学校生活適応を目指す学校教育の充実

☆ 河内地域学校園 平成 28 年度の取組

『無理なく、無駄なく』 大きすぎる負担は長続きしない。

小中一貫教育を進めるうえでの負担が大きくなならないよう、既存の行事や活動を時期を合わせて一緒にやってみる、少し変えてみるといった形で進めていくようにする。

- 小中学校、互いの学校文化を理解する。
- 小中相互乗り入れ授業を通し、互いに学び、授業力の向上に努める。
- 小中一貫教育カリキュラムを充実させる。

(各教科で何かひとつでもよいので、本地域学校園の特色ある工夫を、年間指導計画に位置付ける。)

本年度の全体研修会、各部会等

年間 6 回 4/18, 6/6, 8/5, 9/5, 12/5, 1/30

(1) 4/18, 1/30 全体研修会、各部会、教科部会

(2) 6/6, 9/5, 12/5 各部会、教科部会

(3) 8/5 全体研修会 (教育講演会→授業力向上 P)

本地域学校園が求める児童生徒像

- ・ 学び方を身に付けている子ども
- ・ 家庭学習の習慣を身に付けている子ども
- ・ 言葉の正しいつかい方を身に付けている子ども

小中相互乗り入れ授業

◆ 本地域学校園では、小中相互乗り入れ授業を教員相互の学びの場としてもとらえています。「お互いの良さを取り入れ授業に活かすことで授業力を向上させることができ、その結果、児童生徒の学力を向上させることができる」と考えています。

① 小学校教員の中学校への乗り入れ授業

【目的】小中教職員の相互理解や指導の工夫・改善を目指して実施し、さらには、中学校 1 年生の学校生活適応の支援に資するものとする。

- ・ 小学校教員の役割を明確にして実施する。今後数年で、小学校教員全員が中学校に乗り入れ授業を実施できるようにする。乗り入れ授業を、今後の小学校英語の教科化への準備として活用する。

② 中学校教員の小学校への乗り入れ授業

【目的】小中教職員の相互理解や指導の工夫・改善を目指して実施し、さらには、小学校 6 年生の中学校の学習に対する不安解消を図る。

- ・ 原則として中学校教員が T1 で授業を実施する。
- ・ 地域学校園の小中学校で相談して乗り入れ授業の実施教科を決定する。
- ・ カリキュラムの充実や今後の小学校英語の教科化への準備として活用する。

基礎期

- 言葉をつかって「話す」
- 一日 1 時間
- 「すこやかに学ぼう」
- 「すんで」学習
- 一日 1 学年 × 十分 + 十分

活用期

- 言葉をつかって「考える」
- 一日 1 時間
- 「見通しを立てて」学習
- 「すこやかに学ぼう」

発展期

- 言葉をつかって「考える」
- 一日 2 時間
- 「わかる」で「できる」学習
- 「すこやかに学ぼう」

岡本西小 ⇒ 河内



6/28 体育 黒田 明宏 先生

岡本小 ⇒ 河内中



7/14 数学 墨野倉宏美先生



7/5 社会 紺野 清美 先生

中学校 ⇒ 小学校



会話科 戸井田 孝 先生
5/11 岡本西小へ



国語 横塚 高聡 先生
6/15 岡本小へ



会話科 戸井田 孝 先生
6/22 岡本小へ



国語 横塚 高聡 先生
6/29 岡本西小へ

運動会ボランティア



5月28日(土)、小学校の運動会に、中学生がボランティアとして参加してくれました。

積極的に動きながら、小学生をリードする姿はとても頼もしく感じました。

◆ 岡本小学校 運動会ボランティアの様子



◆ 岡本西小学校 運動会ボランティアの様子



母校を訪問してのあいさつ運動

◆ 岡本小学校 6月1日



◆ 岡本西小学校 7月6日



放送係は、表現豊かに、生き生きと、アドリブを聞かせながら実況放送をしました。準備係は障害走などの準備物の用意を、素早く行い、競技の進行がスムーズに進みました。審判係は等賞旗をもち、率先して順位の判定をしてくれました。

「あいさつ運動」の様子です。5人の卒業生が、それぞれ自分の母校を訪れ、朗らかな笑顔で元気に「おはようございます!」とあいさつをしてくれました。小学生も顔見知りなので、親しみをもってあいさつを返していました。